

合格体験記

氏 名:

担任講師: 阿部詩姓, 野本姓, 脇田姓, 小池先生

在籍校舎:

板橋

校

進学先

広尾学園高等学校 医進・サイエンスコース

その他
合格校

栄東高等学校 東医クラス, 立教新座高等学校

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私が稲門に通うようになったのは、中2の夏休み明けでした。インターネットで好きなバンドのことを調べていた時にこの塾の広告を目にしたことが、きっかけでした。

中学受験をして「海の城」と高々と名前を掲げていた私立中学に入学しましたが、やはりエヌカレーター式の私立男子校は人間関係が難しく、先生方も常識を遥かに超越しているのでは、嫌気がさし、私は1年間で辞めてしまいました。

辞めた時こそ怠けていましたが、稲門の先生方に与えられた宿題も毎日丁寧にやり提出することによって学力を高め維持することができました。

私は、「受験」には4つの選択があると考えています。

1つめは受験もするかしないか、カギ入れるか入れないかです。勉強よりも人生の中で優先したいことがあるのなら、さすがに自分の重きを置いて、それはそれで実りあるものだと思います。

2つめはどの程度のレベルを目指し、どのような学校に進学したいのかです。高みを目指すならそれ相応の気合と努力と基盤が不可欠です。自分の能力のDPTCを理解し自分の持っているものを知ることはとても大切です。

3つめはどのような勉強をするかです。英語をするのか。理系的なものを学ぶのか。自分の得意なものを伸ばすか。まずは著手も克服するのか。この選択はただけのしのことを選んでいく必要があると思います。

4つめは、塾です。塾に行くのか行かないのか。等

団か個別か。この選択は前者のうちの選択を
よく考えた上で出してください。

僕の場合は、医学部を目指せる高校を目指
し、苦手な英語の克服と得意な数学の向上を
頑張ろうと決心しました。

このような集団では難しく、広告で知れた
ご縁もあり、「稲門学舎」で学ぶという選択
をしました。

今では志望校に合格できた上に、たくさん
の先生方と関わり、人生観も見つめ直すこ
とができたりと充実している中で、この選択
をして良かったと思っています。

稲門は、通常の授業だけでなく、正月やお
盆の合宿、長期休業中の講習、振り替え授業
など、とても自分の予定に合わせて柔軟
に対応してくれます。

これから、受験を向かえる皆さんも、志望
校だけでなく、塾の段階からよく考えてみて
ください。そして、その選択肢の一つとして
稲門を考えてみてください。

D. Y. o. B e s t !

先生方、本当にありがとうございました。

僕もいつか、タイガシンガポール、東ティ
モールに行ってみたいです。